

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.892
2020.10.18

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき とぼ めぐみ
とりうみ敏行 金子 あきよ
松村 としお たけこし 連
久保 みき



市民のくらしの現状は深刻 税負担が 重くのしかかる

決算(総合政策委員会関連1日目)

9月25日、神田よしゆき市議が決算特別委員会(総合政策委員会関連1日目)で市民のくらしの現状について質しました。

神田 10年前との比較で、給与所得者、年金所得者の平均収入と税負担は。

市 2019年度の給与所得は374万円、夫婦・中学生2人の世帯の住民税・所得税額は合計約41万4000円。10年前比で給与所得は13万円増、税額は約16万1000円増。65歳以上の年金所得は112万8000円、住民税・所得税額は約8万6000円。10年前比で所得は25万8000円減、税額は3万3000円減。

神田 現役世代も高齢者世帯も所得で見るとかつてなく負担が増えている。市民のくらしの現状をどう認識しているか。

市 負担が増加していると認識している。

神田 法人市民税の減税の影響額は。

市 法人市民税は2013～2019年度まで

の累計の影響額が約287億円。

神田 同じく消費税交付金は。

市 2019年は220億円、2009年は105億円で、差し引き115億円プラス。

さいたま市の会計でも、消費税が法人税の穴埋めになっていることが明らかになりました。

公共施設の整備をすすめよ

次に、公共施設マネジメント(公マネ)計画について質問しました。

神田 市民1人あたりの公共施設の面積が20政令都市中、本市は最下位。公共施設の整備が不十分な都市との認識はあるか。

市 事実として認識している。総量規制のなかでも公民連携を使えば新しい建物は作ることができる。

神田 市は人口増に合わせて、十分な整備を



決算(市民生活委員会関連)

地球温暖化対策 本気でとりくめ

に力を入れることを求めました。

10月1日、久保みき市議が決算特別委員会(市民生活委員会関連)の質問に立ちました。

はじめに、地球温暖化対策について、さいたま市は2020年度までにCO2を23%削減する目標がありながら、昨年度の段階では3.9%の削減実績ということが明らかになりました。地球温暖化が深刻化するなかでこの結果は問題です。久保市議は、太陽光発電の補助を増やすことや、太陽光発電設置の初期費用をゼロにする東京都の事業などを参考に、さまざまな工夫をして自然エネルギーを増やしていくことを求めました。

続いて、事業系ごみの減量についてとりあげました。市民が出すごみは、家庭ごみと事務所・商店・飲食店・工場などの事業系ごみに分けられます。事業系ごみは、ごみの分別や減量がなかなか進んでいない状況があることを指摘し、事業系ゴミの減量

してこなかった。公マネ計画の第2次では、総量規制等の見直しを図るべきだ。

市 施設の整備の仕方、複合・共用化はこれからも進め、十分精査をしながら建てるべ

また、ドメスティックバイオレンス(DV)防止事業において、他市から本市に避難してきた被害者の数すら把握していなかったことが明らかになりました。本市で生活する被害者の状況把握は必須です。久保市議は「精神的にも肉体的にも疲れ切った状態の被害者が、縦割り行政であるがゆえに役所内のあちこちで何度も同じことを話すのは苦痛だ。先進市で活用しているような『相談共通シート』を作成して、被害者の2次被害を防止すべき」と強く求めました。

最後に、昨今さいたま市は消防職員の不祥事が相次いで起きており、深刻な事態です。昨年は6件ありました。要因の分析と再発防止策について、市は不祥事防止委員会を設置し再発防止に努めていると答弁しました。久保市議は「果たしている役割が大きいだけにストレスがあると思う。職員の方の心のケアにも力を入れてほしい」と述べました。

き施設は建てていかなければいけない。

市は、公共施設マネジメント計画の第2次を見直して、新たな公共施設も整備を進めることを明らかにしました。



教員の精神疾患が5年で3倍に！ 施策を見直し 負担軽減を求める

9月29日、決算委員会の文教委員会所管に関する審査がおこなわれ、松村としお市議が質疑に立ちました。松村市議は、教員の働き方について質しました。

松村 精神疾患による病休者が小学校では5年前に比べ3倍(54人)に増えたがどう評価しているか。

市教委 弁護士を経由した保護者や地域の方からの要望等における訴訟のおそれといった法化現象が進んでいるのが原因。

松村 それもあるが、教員の負担軽減の観点から市の施策自身も検証・見直しすべきだ。

市教委 市の施策が精神疾患による病休者が増えている原因とは考えていない。子どもたちに質の高い教育をおこなっていくために必要だ。

松村市議は「現場の先生からは仕事は減っていないという声も聞く。市の施策も見直していただきたい」と重ねて求めました。

部活動でのハラスメントを許さない

松村市議は部活動の在り方の改善についても質問しました。

松村 部活動指導員でもサポーターでもない外部指導者は「部活動の在り方に関する方針」(ガイドライン)の対象になっているのか。

市教委 部活動を指導するすべての指導者が

の衛生用品も不足していました。「子どもにとって友達と距離をとることは並大抵のことではない」「子どものイライラがつのったようだ」などの報告がありました。

また、学童保育の4月の平均出席率は24%だったとのこと。緊急事態宣言後の保育料は、利用自粛した場合には公的補助金が出て保護者に返還することができたようですが、宣言以前の3月の保育料の返還ができておらず困っている、市はこの声に応えてほしいとの切実な声が出されました。私も全力で支援を求めていきたいと思えます。

対象になっている。
松村 外部指導者にガイドラインを徹底するシステムはあるのか。

市教委 校長が定期的に面談を実施している。ガイドラインの共有は非常に重要なのでシステム化や周知の方法を研究する。

松村市議は「外部指導者が子どもに暴言をあげたり、退部に追い込むハラスメントがある。

議案外質問・総合政策

地震・洪水想定地域が道の駅の候補地に？



9月14日、総合政策委員会の議案外質問で、とばめぐみ市議は(仮称)農業及び食の流通・観光産業拠点について質問しました。市は、老朽化する食肉中央卸売市場とと畜場(大宮区吉敷町)を見沼区宮ヶ谷塔2丁目に移転し、同4丁目に道の駅

研究など悠長なことを言わず即座に対応すべきだ」と厳しく迫りました。

松村市議はこの他に部活動中の事故対応や小学校特別教室へのエアコン設置、中学校校則の見直し等を取りあげました。またスポーツ・文化局に関わって人口あたりの文化芸術費が政令市中最下位になっていることや、ビッグイベントの見直しについても質問しました。

を一体的に整備する基本計画を策定中です。

とば市議は、「2つの候補地は、地勢評価で洪水や地震の影響の項目で×(不適合)が示されている」として、市が道路条件等利便性を優先し、地盤沈下や川の汚染、騒音など住民の心配に応えないまま進めていると指摘。市は「×は、市の地震防災マップで震度6強、洪水ハザードマップで最大浸水深0.5m以上を想定する地域であることを示している」として、耐震性のある建物の施工や、貯水池の確保などで対応すると答弁しました。また、今後環境影響評価が必要な施設と判断されればおこなうと述べました。

とば市議は、「大規模な施設。基本計画策定のために、まず環境影響評価をおこない、結果を住民に公開すべき」と求めました。

久保みきが行く！ コロナ禍での 安心安全な保育をめざして

9月27日、さいたま市学童保育連絡協議会主催で「コロナ禍での、安心安全な学童保育をめざして」がテーマの議員・行政との懇談会がオンライン中心で開かれ、私も参加しました。

緊急事態宣言後も開所が要請された学童保育。子どもだけでなく支援員や保護者も不安のなかで過ごしました。マスク、消毒液など

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連